



TIAニュース



財団法人栃木県国際交流協会  
Tochigi International Association

# やあ!

2001  
SEPTEMBER  
No.75

9

WORLD HERITAGE

世界遺産



▲東南アジアの最高峰、標高4,101mのキナバル山を中心とするキナバル国立公園は、東マレーシアサバ州のコタ・キナバルの北東約80kmにあり、古くからカタザン族の人々に「精霊の宿る山」としてあがめられてきた。世界最大の花、ラフレシアやキナバル山にだけ棲息する生物も少なくない。また周辺にはキャノピーウォークや硫黄泉のボーリング温泉等がある。

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介  
シリーズ NO.23

**ケニア共和国**

**TIAホームページ**

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

- ◆ J E T コーナー ダン・フリックさん（アメリカ出身）
- ◆ ようこそとちぎへ 平成13年度栃木県国際交流員（英語担当）  
平成13年度自治体職員協力交流研修員
- ◆ トピックス ▶ なかがわ水遊園開園式に中国とフランスから水産専門家来県  
▶ フランス・ヴォクリューズ県からホストファミリー来県  
▶ 栃木県の友好交流員浙江省へ
- ◆ レポート 中学生国際交流セミナー in 二本松青年海外協力隊訓練所

# JETコーナー

ダン・フリックさん  
(アメリカ出身)



最近、友人と日光へ行った。日光は、栃木の名所であり多くの神社や寺、かの有名な徳川家康公を祀るために建てられた建造物が存している。世界遺産となつた日光の社寺は、華麗である一方、日本の多くの史跡と同様とても営利的である。

列に並んで10分程待った後、やっとの思いで神社に入ることができた。そこで我々は観光ガイドの神社自体の美しさや構造、またそこに隣接している部屋に泊まった著名人についての説明を聞いた。そして私たちは実際にお祈り(祈祷)をする場所へと通された。観光客は一斉にお辞儀をし手を叩く。私は、その部屋がアメリカ人観光客に埋め尽くされ、彼らがその厳肅な宗教的儀式を行うことを想像しようとしたが…、無理がありすぎる。

観光客全員が着席すると観光ガイドは線香や手鏡のようなものを売るためのセールストークに9分間も費やした。私はそのガイドがセールスをやめ途中から違う話をしているのかと思っていたが(日本語を完璧に理解できないため)、友人がその間セールスが続いていることを説明してくれたので、私は奇妙な宗教的商法の罠にかけられているような気がした。誰もその場を立ち去る者はなく、それどころかその線香を購入している者も一人いた。

(私は真岡市でALTをしている傍ら音楽活動もしているので、ぜひ[www.mp3.com/danfrick](http://www.mp3.com/danfrick)を開き、私の音楽を聞いてください。CD等のお問い合わせは、[fricknasty@hotmail.com](mailto:fricknasty@hotmail.com)までご連絡ください。)

A friend and I recently went to Nikko. It's home to some of Tochigi's finest scenery and a dense array of shrines and monuments built for very important dead Japanese men, most notably Ieyasu Tokugawa. The Nikko World Heritage site is both gorgeous and, like so many Japanese cultural attractions, very commercial.

After waiting in line for ten minutes or

so, we were allowed inside one of the more famous shrines. We listened to the guide talk about the beauty of the more famous shrine, its construction, and the important people who once stayed in the adjacent room.

Then we moved into the praying area where all the tourists bowed and clapped at the same instant. I tried to imagine a room full of random Americans following a religious ceremony with such precision, but couldn't. Everyone sat down and the guide spent the next 9 minutes trying to sell us incense and small hand-held-mirror-like-objects. During these 9 minutes, I often thought he had finished his sales pitch and had started talking about something else (my Japanese is not great), but my friend assured me he had not.

I felt like I was trapped in a bizarre religious infomercial. No one left early. One person bought some incense.

(Dan is an ALT in Moka. He hopes you will go to [www.mp3.com/danfrick](http://www.mp3.com/danfrick) and listen to his music. To buy his cd, email [fricknasty@hotmail.com](mailto:fricknasty@hotmail.com) )

## ■TIAライブラリー案内 ■ (貸出のお問い合わせはTIAまで)

### ●世界の国旗

世界の国々は人種や文化、風土が異なりますが、各国の国旗には、その特色がよく表されています。特に宗教の影響は強く、国旗の色や図案を見ただけで、その国の人達がどんな宗教を信仰しているかを知ることができます。

これからの日本は、ますます世界の国々との交流が盛んになります。外国と仲良くするためには、まず、相手の国々を正しく理解することが必要です。その国の成り立ち



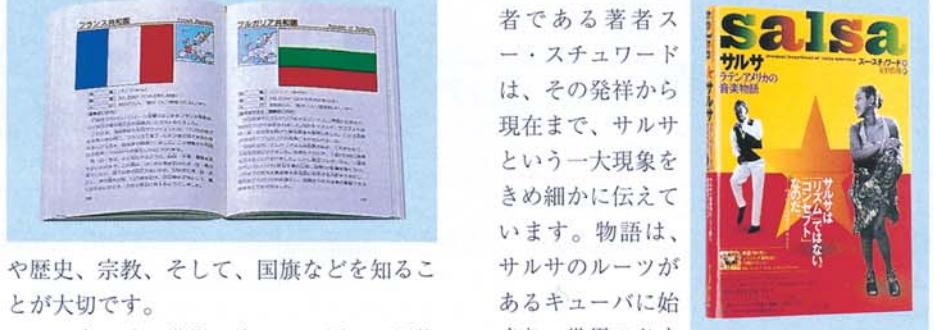
や歴史、宗教、そして、国旗などを知ることが大切です。

この本では、世界のすべての国々の国旗の特色を中心に、それぞれの国の成り立ちと国旗のできたいきさつ、意匠や色の意味合いなどを解説しています。

(森重民造著／偕成社発行)

### ●サルサ ーラテンアメリカの音楽物語

サルサとは、ラテンアメリカの情熱的ダンスマュージックであり、世界中の何百万という人々の活力の源となっています。本書はサルサの音楽と歴史、そこに輝くスターの数々を写真やイラスト付きで紹介する初めての包括的なガイドブックです。



サルサの第一人者である著者スティーブ・チュワードは、その発祥から今まで、サルサという一大現象をきめ細かに伝えていきます。物語は、サルサのルーツがあるキューバに始まり、世界のさまざまな国々の文化やあらゆるジャンルの音楽と複雑に交わりながら発展してきたサルサの歴史をたどってサルサの特徴的なサウンドを構成するルンバ、マンボ、メレンゲなど驚くほど多様なリズムやダンスが生き生きと描写され、サルサに用いられる楽器の完全ガイドや便利なディスコグラフィーもついています。序文には、サルサ界で傑出した存在であるウイリー・コローンが寄稿しています。

(スティーブ・チュワード著／星野真理訳／アスペクト社発行)

## ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

## 栃木県国際交流員 (英語担当)

マイケル・バリさん (23歳)



平成11年8月から平成13年7月までの二年間、栃木県庁の国際交流課で、主に英語圏の交流業務等を担当していたマイケル・ラガウスキーさんに代わって、このほど新しくアメリカ・コロラド州出身のマイケル・バリさんが、国際交流員となった。

マイケルさんは、テキサス州生まれの3人兄弟の長男。父親が石油会社に勤務し、海外転勤等もあって、家族で海外で生活していた経験がある。中でもインドネシアは6歳

から高校卒業までの13年間過ごしたそうだ。大学はコロラド大学で生物学と日本語を専攻したそうだが、アメリカでのカルチャーショックは大きかったと話す。

コロラド大学4年のとき、10か月間、茨城県にある筑波大学に留学し、日本語をメインに日本文化や歴史について学んだ。

今回、国際交流員になった理由は、初めは、ALT(外国语指導助手)になりたかったが、日本語を話す機会が少ないとマイケルさん自身が国際交流の仕事をしたいという気持ちが強かったので、国際交流員を志願したという。

栃木県は、初めてなのでわくわくしてやって来たという。来た当初の印象は、みんな親切な感じがした。来県したのが、8月1日だったので、来た早々宮まつりがあり、日本の祭りに大変感動したそうだ。栃木県に来たので、ぜひ世界遺産に登録された社寺のある日光や塩原に行きたい。また前回、筑波大学に留学したときには、関西に行く機会がなかったので、大阪や京都も訪れたいそうだ。

マイケルさんの趣味は料理を作ることで、日本料理を作ったりもする。ほかには、小説を書いたり、コンピュータで作曲をしたりとクリエイティブなことが好きだそうだ。自

分で作曲したCDもあるという。

これだけの留学経験もあるマイケルさんだが、日本の食べ物でも食べられないものはある。納豆、いくら、うに、生卵がダメで、このあたりは、一般の外国人でも嫌いなペストンに入ってるものであるが、彼は意外にもおでんが嫌いと話す。その理由は、最初のおでんとの出会いがコンビニの煮詰まったくおでんだったので、まずいという印象しかなかったらしい。それからというものおでんはまずいものとのイメージが抜けきらず、未だにきらいだという。ただし、将来、おいしいおでんに出会ったらきっとおでんが好きになるかもしれないと笑いながら話してくれた。

現在、国際交流課で担当している仕事が、翻訳やインディアナとの交流の仕事ばかりなので、やりたい仕事をする時間があまりないと言ますが、もう少し落ちついたら、国際交流課の職員の人たちのために、小さな英会話のクラスを開きたいし、いろいろな日米間の理解教育の講演などもしていきたいと意欲満々。

余談になるが、マイケルさんは、日本のアニメでは、「クレヨンしんちゃん」が大好きでよくみてているそうだ。今後のマイケルさんの活躍に大いに期待しよう。

## 平成13年度 自治体職員協力 交流研修員

宋 慶嬉さん (韓国出身・31歳)



去る6月28日に自治体職員協力交流研修員として来県した韓国・蔚山広域市自治行政局行政課の宋慶嬉さんが栃木県の国際交流課で主に、国際交流、協力の一般行政についての研修を始めた。韓国からの研修員は宋さんが初めて。

宋さんが仕事をしていた蔚山広域市は、韓国でも有数の工業都市で、貿易都市でもある。重化学工業が特に有名で、石油コンビナートもある韓国の七大都市の一つ。

韓国で広域市というのは、日本の政令指

定都市にあたる。

2002年に韓国と日本が共同で開催するサッカーのワールドカップの試合を蔚山市でも開催する予定で、全国で一番最初にサッカースタジアムが今年4月に完成。韓国大統領金大中氏も完成式に出席したという。

宋さんの国際交流の経験は、ちょうど大学1年時で、韓国でソウルオリンピックが開催され、そのときボランティアを引き受けた。宋さんのボランティアの内容は、ソウル金浦空港で、外国から来た選手らを迎える、シャトルバスでオリンピックファミリータウンまで案内するという仕事だった。一ヵ月間の研修を受けた後この仕事をしたが、まだその当時は大学に入ったばかりで、第二外国語で日本語を学び始めたばかりだったので、通訳は英語で行ったそうだ。オリンピックということもあり、いろいろな国からの選手や監督のお世話をしたことで貴重な体験をしたという。

また、宋さんの大学は慶州にあり、慶州を訪れる観光客のうち約80%が日本人なので次第に日本語にかなり関心を持つようになったという。

宋さんは、韓国では、日本語とは直接関係ない仕事なのだが、日本語が話せる職員ということで、日本からお客様が来たりしたときには通訳をしている。

1998年に万国博覧会が慶州で開かれたときも、蔚山広域市広報館というパビリオンで蔚山の観光や広報活動を行ったそうだ。

たいへんボランティア精神旺盛な宋さんだが、現在は日本で3つの目標があるといふ。まず第一は、日本語が上手になりたいこと。二番目には日本での生活や日本の事情をよく理解したいということ。そして三番目には、旅行などをしながら日本の文化を身につけたいということだ。もちろん国際交流にも興味があるので、それに関した行事などにも積極的に参加していきたい、と話してくれた。栃木県の印象はと聞くと蔚山広域市と同じで静かで過ごしやすいところと語る。

帰国後は、ワールドカップも開催されるので、今度は日本語での通訳ボランティアとしてお手伝いしたいし、自治体間の国際交流にも役立ちたいと考えているそうだ。

# ケニア共和国 REPUBLIC OF KENYA

アフリカ大陸東部に位置し、南東部はインド洋に面する。面積は日本の約1.5倍で東部に平野が広がるが、内陸部は高原が占めている。北にはツルカナ湖、西にはビクトリア湖があり、首都ナイロビは、標高1,700mの高原にあり、年平均気温は約18℃。人口の約三分の一は、土地の肥沃な高原地域に分布している。

ケニアは、キクユ語で「白い山」を意味する。

## 案内人

安藤 裕之さん（今市市在住・29歳）



協力隊への応募の直接のきっかけは、栃木県塙谷庁舎に貼ってあった青年海外協力隊の募集のポスターを見てだそうだが、安藤さんは、向こうで何かできるかもしれないという思いから応募したのだそうだ。

1999年4月から2001年4月までの2年間、ケニアのワイルドライフサービスというところで自動車整備の指導等を行ってきた。

## ケニアは車王国？

任国のケニアでは、ケニアワイルドサービス通称KWSと呼ばれる国の野性生物公社と言ったらよいのでしょうか？いわゆる国立公園を管理する団体で勤務していました。私の任務は、もともとパーク内のメカニックトレーニングを行うことが主な業務だったので、研修センターでトレーニングを行う予定ではありました、現地の計画そのものがうまくいかなかったため、結局は整備的なことが多く、たまに車が来たりした際にオイル交換等をしていました。

それでも最初の一年目は、電気の基礎知識のトレーニングは行っていました。

日本から抱いていたイメージはケニアはきっと途上国だから車なんか走ってなくて動物が走っているのだろうと思ってましたが、動物を町中でみることは難しく、しかも大量の車が走っているのには大変驚きました。

私がいた宿舎は、研修センターの敷地内

▲ケニアには、サファリライリーの



にあったスタッフ用の宿舎でした。

この研修センターは、教育を中心としたトレーニングを行う施設で、よく外部から講師を招いたりしていました。

トレーニングは、パーク内のメカニック整備士を対象としていました。

ただ、先程も話したようにトレーニングよりもワークショップでの自動車整備や幹部とトレーニングに関する交渉などを主に行っていました。

現地の職場での仕事は、英語で行っていましたが、学校以外の職場は、スワヒリ語が多いです。実際にスワヒリ語は現地で一ヵ月ほど研修を受けて勉強しましたが、耳で聞くと発音も簡単だし、文法は英語とほぼ同じで、スワヒリ語のほうが覚えやすいです。



▲研修センターで電気の基礎知識を講義中

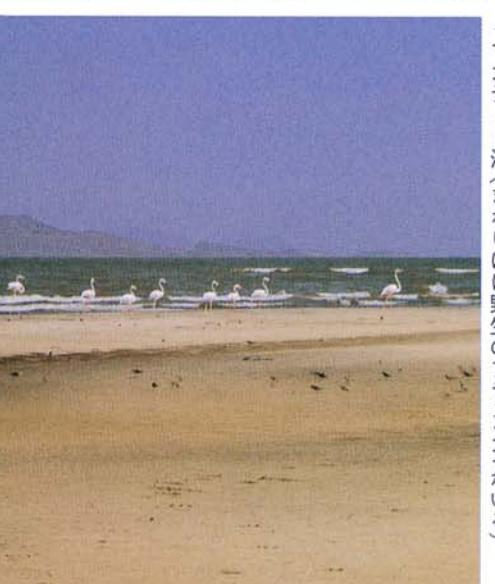
## 主食はウガリ

ケニアでは、とうもろこしの粉を練った「ウガリ」と呼ばれるものを主食として食べています。ただ、自分の場合は、この「ウガリ」は、手間がかかり、毎日作るのは大変なので、アフリカ産の米を食べていました。意外とこれがおいしいのです。朝は、ウガリではなく、パンを食べる人が多いようです。私の住んでいる地区は、ケニアの首都ナイロビから約80kmのナイバシャというケニアで最も人口の多いといわれる部族キクユ族のいる所だったので、豆を食べていました。キクユ族は、豆を主食にしている部族です。

ケニアの代表的な食べ物としては、「ニヤマチョマ」（スワヒリ語で焼肉という意味ですか）という料理を食べます。山羊か羊の焼肉料理といったところでしょうか。肉だけだと栄養が偏ってしまうので、香味野菜の代わりにトマト、タマネギ、グリーンペッパーを食べながら、肉を食べるというのが一般的です。鶏肉はケニアでは高価なので、私は食べなかったです。また、日本では一般的な豚肉は、ケニアではなかなか売っていませんでした。



▲ツルカナ族の家



▲マガディー湖（まわりには野生のフラミンゴがいる）



ツルカナ湖の夕暮れ（エチオピアとの国境）



## ケニアは日本より過ごしやすい

ケニアという暑い国のイメージがありますが、一応乾季と雨季に分かれています。標高が1,700mと高いこともあり、乾季でも20°C前後、雨季にはもうちょっと気温が下がり、10°C~15°C程度になり、雨が降るといつても1日に集中して30分ぐらい降るといった感じです。生活はほとんど日本と変わりない生活をおくることができます。インフラ整備がうまくいってないので、非常に停電が多かったです。水は、ホテルの水でも生水は飲めず煮沸しないと無理でした。

日本人のイメージでは、ケニアは動物の多いところというイメージがあると思います



▲買い物袋を頭にのせているツルカナ族の女性たち

が、今は動物はたいてい動物パークで管理しているので、パーク以外ではみられないです。シマウマを食べるようなシーンをテレビなどで見た人もいるでしょうが、このシマウマは、特別でないと食べられないのです。シマウマはロバの系統に属し、鹿のような味がしますが、美味しいですよ。（笑）インパラとかヘランドなどの鹿の肉のほうが美味しいです。

アフリカという部族が多いことで有名ですが、ケニアも例外ではありません。全部で53部族くらいあります。部族の割合からいいますと、キクユ族が一番多く、次いで、ルア族、マサイ族です。

マサイ族が意外に少なくてあれ？と思われた人も多いのではないでしょうか？事実、ケニア、タンザニアにマサイ族が広く分布し

ているため有名ではありますが、実際にはそんなに多くないです。ただ、彼らは伝統を部族の文化として大切に継承してきている数少ない部族です。バスに乗るときも裸のまま、乗ってくることもあります。近年、やはり世代交代といいますかだんだんと文化的な生活にはなってきています。

ケニアは独立以後、イギリス文化が多くなりましたが、海岸部はスワヒリ文化が残っています。



▲パーク内にあるみんなのやサイを保護する施設一年の後に野生に放す

いたり、部族の小さな祭りがまだ行われています。これは昔、多部族がいたところなので、こういうトライディショナルなお祭りが行われているのです。もう都市部ではすっかり、姿を消してしまった割礼等の昔からの儀式を残している部族もいたります。

ただ、現在ではツルカナ、マサイといった2、3の部族以外は文化的な生活体系になつてきています。

## ケニアのお酒

ケニアでは、ケニアビールの「タスカ」が有名です。ほかにも、南アフリカ共和国のホワイトキャップやキャッスルなどは工場があるため、現地でも生産されています。ビールは田舎では、常温の

まま飲んだりしているので、ぬるいビールがでてくることもあります。ビールのほかには、「チャンガ」というさとうきびで作ったお酒や白人入植者も多かったのでワインも飲まれています。

また、最後になりますが、元青年海外協力隊事務局長の青木盛久ケニア大使



か赤道の表示（ケニアには何所かこのようない表示がある）

（栃木県出身）にケニアに居た時に何度も招いてもらいました。自分が一番印象に残っていることは、ケニアの隊員一人一人の報告書を読んでいて隊員一人一人の顔と、どんな活動をしているかということを全て記憶されていると言うこと。そして自分の派遣国が青木大使のいるケニアでホント良かったと思います。



▲ツルカナ族の子供たち

## データ

## ケニア共和国



黒、赤、緑の横三色旗。赤の上下に白い条。黒は国民、赤は独立闘争、緑は農業と天然資源、白は統一と平和を表す。中央は自由の守りのシンボルのマサイ族の盾と槍をデザイン化。1963年制定。

- |        |                             |
|--------|-----------------------------|
| ① 面積   | 580,000km <sup>2</sup>      |
| ② 人口   | 2,900万人（99年）                |
| ③ 首都   | ナイロビ                        |
| ④ 主要言語 | 英語、スワヒリ語<br>キクユ族21% ルーヤ14%  |
| ⑤ 民族構成 | ルオ族13%                      |
| ⑥ 宗教   | キリスト教64%<br>イスラム6% 伝統宗教     |
| ⑦ 通貨   | ケニア・シリング                    |
| ⑧ 元首   | 大統領                         |
| ⑨ その他  | 協力隊員の派遣数1,148人<br>栃木県からは17人 |

# TOPICS トピックス

## なかがわ水遊園開園式に中国と フランスから水産専門家が来県

栃木県と友好関係にある中国・浙江省、フランス・ヴォークリューズ県から4名の水産専門家を7月12日から18日の一週間の日程でなかがわ水遊園の開園に合わせて招いた。両国の固有の魚の飼育技術等について意見交換を行うとともに、魚を通じた国際交流や友好を深めた。一行は、県の水産試験場や鮭、鱒の養殖研究を行っている養



▶なかがわ水遊園開園式

殖研究所日光支所の見学、なかがわ水遊園の開園式（7月15日）のテープカット及び日光・東京視察を終えて帰国した。

## フランス・ヴォークリューズ県から ホストファミリーが来県

栃木県と友好交流をしているフランス・ヴォークリューズ県の「プロバンス・ジャポン協会」の会員5名（2組の御夫婦と1夫人）が、8月17日から26日までの日程で来県した。同協会は栃木県が派遣している女性の海外研修団員のホームステイを12年前から引き受けている。栃木県では8年前から同協会の会員を招待し、本県や日本の文化を知る機会を提供している。一行は、知事表敬、県内視察の後、元海外研修団員のお宅にホームステイし、友情を深めた。

また、とちぎ・プロヴァンス協会主催に



よる意見交換会や交流会、栃木県ペタンク協会の協力により開催されたペタンク日仏交流会等に参加し、県民との交流を深めるとともに、今市市の如来寺での琴演奏や日光木彫りの里での日光彫り体験など日本文化体験も行った。

## 栃木県の友好交流員が浙江省へ

平成6年度から栃木県が毎年派遣している「浙江省友好交流員」が決定した。今年度は、石塚メイ子さん、長岡正子さん、桐生圭さんの3名。スポーツを通じて友達を多く作ったり、史跡やいろいろな所を電車で旅行したいなど思いは様々だが、3名は9月上旬に日本を離れ、来年2月までの約半年間、浙江大学で寮生活を送りながら、中国語を中心に研修を受ける。



▲写真左から石塚メイ子さん、長岡正子さん、桐生圭さん

## レポート

### 中学生国際交流セミナー in 二本松 青年海外協力隊訓練所

中学生の夏休みを利用して、初めての試みとして中学生国際交流セミナーが、8月6日と7日の1泊2日の日程で福島県の二本松青年海外協力隊訓練所で、県内の中学生10名及び元青年海外協力隊のOB/OG、それにJICAの推薦を受け、県内で研修を受けている海外技術研修員たちなど計26名で国際協力セミナーを行った。

最初は、慣れなくておとなしかった中学生たちも、徐々にうちとけるようになった。

今回は、中学生に青年海外協力隊の訓練



◀トレーニングの一  
つ  
貿易ゲーム

の疑似体験をしてもらう目的で行ったもので、中学生らは、異文化体験や貿易ゲームなど楽しみながら国際理解を身につけていった。

今回は協力隊OBらの協力により、プログラムを作成し、そのプログラムにそった内容で体験学習を行った。

第1日目はバスで二本松に向かう途中、自己紹介を行い、到着後、訓練所の担当者から施設の説明を受け、見学をし、アイスブレーキングということで、簡単なゲームを行った。その後は、世界地図を書いたり、異文化体験ということで、「トウヤット」という観光客と現地人に分かれて、指令を与え、その指令を言葉を使わないでどうやって行うかということをした。ゲーム感覚だったので中学生にとってもかなり楽しめたようだ。夜は、パキスタンの研修員から母国についての紹介などをしてもらったりして、終始なごやかなムードで進められた。



▲フォトランゲージでザンビアからの研修員が説明

第2日目は、半分の写真からあと半分を想像して書くという「フォトランゲージ」が行われた。結果をみんなの前で発表するという学習を行い、みんないろいろ考えながらストーリーを開いていた。そのほか貿易ゲームではお金を儲けたり、損をしたりしながら、実際の社会の経済構造や世界の国々との貿易システムを知ったり、中学生同志意見を交換し合いながら、いろいろなことがお互いに学びとれた。最後に、アンケートと実際に海外で青年海外協力隊として派遣されている人たちに手紙を書く時には、思い思いに手紙を一生懸命書いていた。今回、アンケートの中では、楽しかったけれども1泊2日では短すぎるから、2泊3日にしたいといった意見や、来年また、高校生になってからもぜひ参加してみたいといった意見も出ていた。



▲中学生国際交流セミナーの行われた  
二本松青年海外協力隊訓練所にて

# 情報発信 地域の国際交流案内

## ★国連英語検定試験（秋試験）

▶試験日=第1次試験：平成13年11月11日(日)、第2次試験：平成14年1月13日(日)(A・B級のみ、特A級は1月20日)▶受験会場：とちぎ国際交流センター(特A級は東京)▶検定料=特A級7,300円/A級5,100円B級4,000円(いずれも消費税込み)▶申込方法=書店で申込みの方法とインターネットから申込みの二種類。▶申込締切=平成13年10月14日(日)まで▶受験の問い合わせ=国連英検試験センターTEL03-3363-8961(受付時間は祝祭日を除く月曜日～金曜日の9:30-17:30)  
<http://www.unate.or.jp/>

## ★ハングル能力検定試験(第17回)

▶試験日=第1次試験：平成13年11月4日(日)、第2次試験：平成13年12月2日(日)(1、2級の第一次試験合格者のみ)▶受験地=東京ほか全国7会場▶検定料=1級10,000円/2級8,000円/準2級6,000円/3級5,000円/4級4,000円/5級3,000円▶申込方法=書店またはハングル能力検定協会事務局に直接お申込みください。▶願書受付期間=平成13年10月13日まで(当日消印有効)書店締切:平成13年10月11日まで▶申込書送付先・問い合わせ=ハングル能力検定協会〒106-0041東京都港区麻布台1-11-5TEL03-3568-7270FAX.03-3568-7271

## ★秋季通訳技能検定(英語)

▶試験日=第1次試験：平成13年11月4日(日)、第2次試験：平成13年12月13日(日)▶等級=1級、2級▶試験地=札幌、仙台、金沢、つくば、東京、横浜、名古屋大阪、広島、福岡、諫早、熊本、那覇▶受付期間=平成13年9月3日(月)～10月15日(月)▶申込方法=日本通訳協会に直接申し込むか所定の書店(紀伊国屋書店、三省堂書店)でも受け付けます。▶申込書送付先・問い合わせ=日本通訳協会通訳技能検定委員会〒169-0075東京都新宿区高田馬場1-5-20千代田生命ビルTEL03-3209-4741

## ★キリマンジャロへ行こう!

タンザニア植林ワークキャンプ  
 ▶日程=2月中旬～下旬(18日～21日間)  
 ▶宿泊=現地小学校別棟にて共同泊(2日間ホームステイ)▶募集人数=15～22名。  
 ▶参加資格=なし(どなたでも参加できます)▶費用=30万～35万円。▶問い合わせ=タンザニア・ボレボレクラブ〒154-0015東京都世田谷区桜新町1-20-2-202TEL/FAX03-3439-4847 E-MAIL:pole2club@hotmai.com HP:<http://polepoleclub.hoops.livedoor.com>

## ★宇都宮市国際交流協会日本語部会

### 公開講座

▶日時=2001年9月29日(土)14:00～15:30▶場所=宇都宮市市役所16階中会議室▶演題=“文法の基礎～「が」と「は」の違い説明できますか～”▶講師=小池清治先生(宇都宮大学国際学部教授・宇都宮市民大学講師)▶参加費=無料▶定員=先着200名▶問い合わせ・申込み=宇都宮市国際交流協会事務局 TEL. 028-632-2017 FAX028-632-2016

# TIA日誌

2001年7月1日～2001年8月31日

- 7/1 国連英語検定第1次試験(センター)
- 7/4 海外技術研修員研修先配属
- 7/5 愛媛県国際交流課職員センター訪問
- 7/6 国際理解教育星が丘中センター訪問
- 7/12 海外技術研修員子ども総合科学館見学(市内)  
友好省県州水産専門家来日(～18日まで)
- 7/13 星が丘中国際理解教育講師派遣  
友好省県水産専門家来県協会理事長表敬(理事長室)
- 7/21 フランス語講座役員会(センター)
- 7/27 クラブ・リセ第1回ミーティング(センター)
- 7/28 海外技術研修員日本語研修終了。(センター)
- 8/1 海外技術研修員研修機関配属
- 8/9 インターナショナルフェスティバル2001運営委員会(センター)
- 8/10 日仏青少年短期研修事業実施委員会(センター)
- 8/17 ヴォーカリューズ県ホストファミリー来県(～26日まで)
- 8/18 ヴォーカリューズ県ホストファミリー協会理事長表敬(センター)
- 8/19 国連英語検定第2次試験(センター)
- 8/21 ヴォーカリューズ県ホストファミリー県内視察及び歓迎会(市内)
- 8/24 ベタンク日仏交流会(市内)
- 8/25 ヴォーカリューズ県ホストファミリー一日光視察及び送別会(市内)  
フィリピン料理教室(センター)
- 8/26 ヴォーカリューズ県ホストファミリー帰国

## 宇都宮←羽田空港

(直通高速バス 1日6往復)

### 宇都宮から羽田空港へ直通バス運行開始

#### ●柳田に専用駐車場(210台)完備 1日200円

#### ●運賃 大人片道

3,500円  
小人半額・税込

#### 羽田空港行

柳田(柳田駅発)	3:05	3:45	4:35	5:35	8:35	15:35
JR宇都宮駅発	3:20	4:00	4:50	5:50	8:55	15:55
柳田駅西口発	3:23	4:03	4:53	5:53	9:00	16:00

●所要時間

150

～190分

#### 宇都宮行

羽田空港発	10:00	14:35	18:00	19:30	21:10	22:40
羽田空港着	5:40	6:20	7:10	8:30	11:40	18:40

#### ●お問合せ・ご予約は羽田空港行予約センター (028)639-6700 関東バス

## 印刷からテレビCM制作まで



必要なときに必要なだけ オンデマンド印刷機

インターネットのホームページ制作は当社へ!

株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

〒321-0904 宇都宮市陽東5丁目9番21号  
TEL 028-662-2511(代) FAX 028-662-4278  
URL <http://www.pto.co.jp/> E-mail s@pto.co.jp

# TIA Information Corner

## とちぎインターナショナル フェスティバル2001

「とちぎインターナショナルフェスティバル2001」を次のとおり開催します。

▶開催場所=栃木県子ども総合科学館  
(宇都宮市西川田町567)

▶日時と内容=2001年10月14日(日)10:00~16:00

日本文化紹介、外国の歌や踊り、外国のゲームや遊び、外国の料理や民芸品の試食展示等、職業生活や労働に関する相談

▶問い合わせ=(財)栃木県国際交流協会  
TEL.028-621-0777

### ★Tochigi International Festival 2001

Place:Tochigi Science Museum  
(Tochigiken Kodomo Sogo Kagakukan)  
(Address:567 Nishikawada-machi,  
Utsunomiya-shi)

Date and time:October 14, 2001(Sunday)  
10:00~16:00

Details:Various Foods, Crafts, Songs, Dances,  
Games from Different Countries, Introduction  
of Japanese Culture, and Consultation  
for Nikkei (Japanese Descents)  
Employees

For more information or details, please contact  
TIA at 028-621-0777

### ★Festival Internacional de Tochigi 2001

Lugar:Tochigi-ken Kodomo Sogo Kagaku-kan  
(Utsunomiya-shi,Nishikawada-machi  
567)

Fecha y hora:14 de octubre de 2001 (domin-

go),de las 10.00 a las 16.00 a horas

Detalles:Comidas,artesanías,músicas,danzas y juegos de varios países, Presentación de la cultura japonesa y consultas laborales para los nikkeis.

Para mayores informaciones, llamar a TIA (028-621-0777)

### ★Festival Internacional de Tochigi 2001

Local:Tochigi-ken Kodomo Sogo Kagakukan  
(Utsunomiya-shi,Nishikawada-machi 567)

Data e horário:14 de outubro de 2001  
(domingo),das 10:00 às 16:00h. \*Terá comidas,  
artesanatos,músicas,danças e jogos de vários  
países;culturas japonesas;e,consulta trabalhista  
aos nikkeis. Informações:TIA (Tochigi  
International Association ), Tel.028-621-0777

### ★栃木国际节 2001

本协会将举办“栃木国际节 2001”

欢迎大家踊跃参加。举办日期如下。

◇地点: 栃木县儿童综合科学馆

(栃木県子ども総合科学館)

(地址: 宇都宮市西川田町 567 )

◇日期・内容:

2001 年 10 月 14 日(日) 10:00 ~ 16:00

展示出售外国料理、民间工艺品等。

介绍外国歌、舞、游戏以及日本文化。

有关职业、劳动的咨询(只限于日系人)

◇问询处: (财) 栃木县国际交流协会

电话: 028-621-0777

## TIA 賛助会員募集中!

賛助会員になっていただきますと、TIA の機関紙、各種刊行物、催事情報等をお届けします。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他、会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。

※賛助会費と出捐金の運用益は、TIA の様々な事業に使わせていただいており、地域の国際化のために役立っています。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同下さる企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

งานฉลองนานาชาติโทชิจิ ๒๐๐๑

สถานที่: พิพิธภัณฑ์วิชาการทางวิทยาศาสตร์ ของเด็กโทชิจิ

วันและเวลา: วันเสาร์ที่ ๑๔ ตุลาคม เวลา ๑๐.๐๐ น. ถึง ๑๖.๐๐

รายการ: อาหารต่างๆ หลากหลาย สินค้าพิเศษ การแสดงและร้องรำของนานาชาติ แนะนำให้รู้จักวัฒธรรมของญี่ปุ่น และให้คำปรึกษาทางด้านกฎหมาย เจพะบุคคลที่มีสัญชาติญี่ปุ่น (นิกเกิน)

ติดต่อสอบถาม: สมาคมนานาชาติโทชิจิ TIA

โทร ๐๒๘-๖๒๑-๐๗๗๗

### تو چی گی اینترنا شنال فستیوال ۲۰۰۱

(جشنواره بین المللی تو چی گی ۲۰۰۱) بشرح زیر اجراء خواهد شد.

◀ محل جشنواره: تو چی گی کن کودو مو سوگو کاگاکو کان - (اوتسونومیا شی نی شی کاوادا ماجی ۵۶۷)

◀ روز و پر نامه: یکشنبه ۲۰۰۱/۱۰/۱۴ از ساعت ۱۰ تا ۱۶ تهیه خوراک های مختلف، فروش

صنایع دستی، رقص و آواز و بازیهای تاریخی کشورهای خارجی و معرفی سنتها و فرهنگ زبان. مشورت در مورد اشتغال و مشکلات کار و زندگی روزمره برای اشخاص نیک کی.

◀ برای سایر اطلاعات مورد نیاز به تو چی گی کن کوکسائی کوریو کیوکائی مراجعه غایید. شماره ۰۲۸-۶۲۱-۰۷۷۷

### <新規賛助会員の方々>

個人: 沢畠秀様、マシュー・バーム様、  
安藤正知様、シェーン・モーキン様、神山保様、土屋克巳様  
～ご入会、ありがとうございます～

